

# 治療中断がよくない理由 ▶▶▶

Q なぜ治療中断がいけないの？

## ～ 治療中断が多い場面と中断した結果

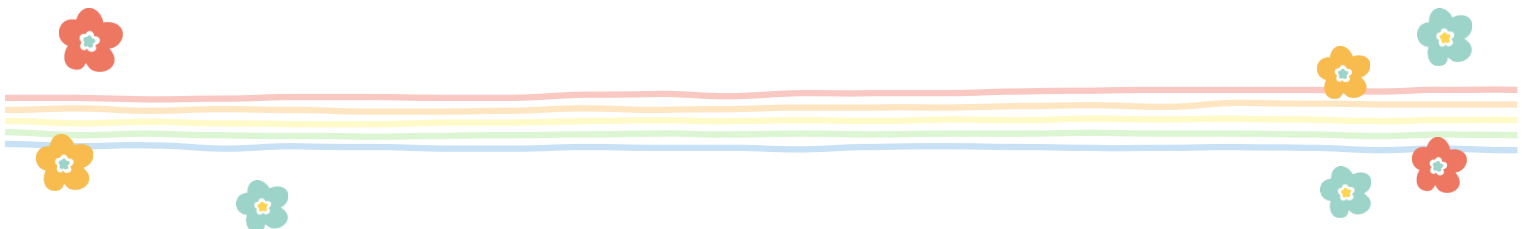
### 1 応急処置で「痛み」が消えたとき

痛みが強い人はその炎症を鎮める処置を優先します。  
その後で実際の治療がやっと始まります。  
この状態で治療を中断してしまうと、同じような状態に戻ってしまいます。



### 2 被せ物の型をとり終わったとき

被せ物の型をとってからお口の中に入れるまで、通院感覚が少しくることがあります。  
そこで被せ物を入れずに中断してしまうと、お口の中の状態が変化して、作った被せ物が合わなくなり、また型どりが必要になります。



# 一番の願いは「治療の完了」

一生自分の歯で過ごすことができるよう、ぜひ、治療は最後までお受け下さい !!

## A

治っていない状態で放置してしまうと、そこから新たに病気が始まる危険性が高まるからです。そのため、場合によっては最初に受診したときよりも、お口の健康が損なわれることになってしまいます。

## の危険性を知っておきましょう！ ～

### 3

#### 仮歯を入れたとき

仮歯が入ると見た目も日常生活もぐんと快適になり、「これで十分！」と判断される方がいらっしゃいます。しかし、仮歯は仮止めしてあるだけの弱い歯ですから、簡単にとれたり壊れたりします。結果、残っている歯の状態を最初るとき以上に悪くしてしまい、もっと削ることになります。



### 4

#### 歯の神経の治療中

中断すると最も危険な状態になります。歯の根の治療は繊細な処置を繰り返して、細菌が根の中で繁殖しないようにします。

中断してしまうと、かえって根の中の細菌が増殖し、炎症の悪化や、歯を抜く可能性が高くなります。

